
2005年度「産業と環境」国際シンポジウム 報告書

地域再生のための環境ビジネス

日 時：2006年2月3日（金） 13：30～17：00

場 所：神戸ポートピアホテル本館地下1階「偕楽」の間（神戸市、ポートアイランド）

主 催：（財）地球環境戦略研究機関（IGES）
（財）21世紀ヒューマンケア研究機構

後 援：環境省、兵庫県、神戸市、（財）国際エメックスセンター、（財）兵庫県環境クリエイトセンター、アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）、兵庫県大気環境保全連絡協議会、関西研究センター推進会議構成団体（10団体：地球環境関西フォーラム、関西広域連携協議会、（社）関西経済連合会、大阪商工会議所、兵庫県商工会議所連合会、兵庫県商工会連合会、（社）兵庫工業会、（財）ひょうご環境創造協会、兵庫県環境保全管理者協会、（財）新産業創造研究機構）

2005年度「産業と環境」国際シンポジウム 地域再生のための環境ビジネス

(財)地球環境戦略研究機関 (IGES) 関西研究センターは、(財)21世紀ヒューマンケア研究機構とともに、2006年2月3日、2005年度「産業と環境」国際シンポジウムを神戸ポートピアホテル（神戸市・ポートアイランド）で開催した。

今回のシンポジウムでは、地域の特性を活かした、地域の持続可能性を高めるための環境ビジネスの役割を中心に、国内外の専門家からその多様な取組みが報告された。

基調講演では、ニール・セルドマン氏（米国、地域の自立のための研究所）から、持続可能な発展のためには新しいルールの制定が必要であることや、米国の地方レベルでは環境ビジネスを推進するための様々な取組みが進展していることについて紹介があり、現在が岐路に立った重要な時期であるとの話があった。

パネル報告では、21世紀の環境ビジネスを発掘するためにはどのようなところに視点を当てればよいか、インドにおけるエコタウンではどのような取組みが行われているか、モノを作らない時代においてどのような産業が必要とされるか、かつての工業地帯を再生するためにどのような取組みが行われているか、といったことが紹介された。また、環境ビジネスを起業するための制度は一部整ってきたものの、まだ課題が残されていること、環境ビジネスを展開していく上で付加価値の高いものから取り組む戦略が効果的であることなどの意見交換が行われた。最後に、各パネリストから、地域再生のための環境ビジネスに関するキーワードを発表していただき、議論を締め括った。



目次

プログラム、プロフィール

◆開会の挨拶

- 天野 明弘 ((財)地球環境戦略研究機関 (IGES) 関西研究センター所長) 1
原田 彰 (兵庫県健康生活部環境局長) 3

◆基調講演

- 「持続可能な産業発展：これまでの歩みと今何をすべきか」 5
ニール・セルドマン (地域の自立のための研究所 (ILSR: Institute for Local Self-Reliance) 所長 (米国))

◆研究報告

- 「日本におけるバイオマスを活用した環境ビジネスの視座」 13
赤池 学 ((株)ユニバーサルデザイン総合研究所所長)

- 「環境をベースとした地域経済のための地域社会とのパートナーシップ： 23
インドの経験と今後の展望」

ベンカタチャラム・アンブモリ (IGES 関西研究センター
産業と持続可能社会プロジェクト主任研究員)

- 「環境と地域再生：環境を核としたまちおこし・産業再生」 39
竹林 征雄 (IGES 関西研究センター 産業と持続可能社会プロジェクト上席客員研究員、
(株)循環社会ビジネス研究所 主席研究員)

- 「RustBelt 再生への3つのアプローチ：パートナーシップによる地域のガバナンス」 47
加藤 恵正 ((財)21世紀ヒューマンケア研究機構・地域政策研究所所長、
兵庫県立大学経済経営研究所所長・教授)

◆パネルディスカッション 61

[コーディネーター]

郡 薫 孝 (IGES 関西研究センター 産業と持続可能社会プロジェクト サブプロジェクトリーダー、
同志社大学教授)

[パネリスト]

ニール・セルドマン
赤池 学
加藤 恵正
竹林 征雄
ベンカタチャラム・アンブモリ

◆閉会の辞

- 宮崎 秀紀 ((財)21世紀ヒューマンケア研究機構副理事長) 71

開会の挨拶

財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)

関西研究センター 所長

天野 明弘

ご来賓の皆様、国内外からお越し頂きました著名な研究者の皆様、そして国内の各組織からご参会頂きました皆様、本日は「産業と環境」国際シンポジウム「地域再生のための環境ビジネス」に大変多数のご参加を頂きまして、誠にありがとうございます。シンポジウムの開催にあたりまして、ご挨拶の機会を得ましたことを大変光榮に存じております。

2001年の開設以来、IGES 関西研究センターは、企業や産業と環境の関係を政策的に研究する活動を行ってまいりました。2004年から第3期の研究が始まりまして、「産業と持続可能社会」のテーマのもとに研究を続けているところです。

地球環境問題が人類に対して、さまざまな影響をもたらして始めております。それ以来、事業活動を行ってられる多くの方々は、市場経済システムのあり方が今後大きく変わっていくだろうという実感をお持ちでなかろうかと思えます。また、地域の発展を願う地方自治体におかれましても、産業誘致、あるいは工場団地の形成だけに頼る発展の手法から、より持続可能な地域社会のあり方を標榜されるようになってきております。産業社会がエコシステムに対して与える影響を是正しまして、経済のさまざまな側面と、エコロジーの側面とを融合させる必要性は、さまざまな機会で強調されるようになってきております。持続可能性の原則に合致するような産業活動のあり方を前進的に変えていくということはビジネスにとってもよいことだと考えられる経営者の方が増えてきております。しかし、そういった戦略に、本当に確実かつ明白な根拠があるといえるのかということもございます。経済とエコロジーを1つの戦略の中で合致させるということは、長期的、あるいは短期的な視点からみても、道理にかなったことだと確信を持っているのかということが常に問題として上がってまいります。

最近、個人的な興味から、わが国の経済活動がどれくらい効率的であるか、47都道府県別の効率性について比較したことがございます。事業従業者数、資本、中間投入、エネルギー投入、そういったさまざまなインプットから、経済的な成果を生み出す生産効率性を、データ包絡分析という手法を使い、比較を行ってみました。生産活動に伴い発生する環境負荷を考慮せずに評価した生産効率性の都道府県別のランキングと、廃棄物や有害化学物質、あるいは温室効果ガスの排出を考慮した場合の生産効率性との比較では、ランキングが随分変わってくるのがわかりました。ちなみにわが兵庫県は、最初の意味での生産効率性はかなり高いところでありましたので安心しましたが、環境負荷を考慮した効率性のランキングでは、それよりもだいぶ低いところになりました。

企業経営につきましても、地域社会の発展につきましても、持続可能な産業社会の形成に寄与するということは、必ずしも容易ではありません。トレードオフのさまざまな関係に上手く対処するためには、いろいろな組織や主体が、新しい役割分担の方向を見出し、お互いに協力することが、必要不可欠になってまいります。「地域再生」、「環境保全」といった2つの難問も、やり方によっては解決可能な方向に向かわせるよ

うな、そういった希望の明かりも見え始めていることも事実であります。

本日のシンポジウムでは、最新の情報と幾つかの先進的な事例を基にしまして、地域社会や企業が持続可能な社会を作るために、我々は今後どのような発展のシナリオを選択できるのか、そのようなことを論じて頂けるものと期待しております。また、ご参加頂きました皆様方にも、今日のテーマに強い関心をお持ちの専門家の方々がたくさんいらっしゃいます。是非、一緒にこのような問題を考えていただき、機会があれば議論にもご参加頂ければ、大変幸いにございます。本日のシンポジウムが、何らかの意味で皆様方のご関心に1つでも新しい明かりを灯す縁になればと祈念いたしまして、私のご挨拶といたします。

ありがとうございました。

開会の挨拶

兵庫県健康生活部環境局長

原田 彰

本日は、IGES 関西研究センターの「産業と環境」国際シンポジウムが兵庫県におきまして盛大に開催されますことを心から感謝申し上げますとともに、地元を代表いたしまして歓迎申し上げます。

さて、地球環境問題の対応や循環型社会の形成、こういったことはわが国の最重要課題の1つであることは言うまでもありません。持続可能な社会へ向けて、国、自治体、企業、各種団体、そして県民の1人ひとりの皆様の具体的な行動が求められているところであり、兵庫県では「ひょうご循環社会ビジョン」を策定いたしました。持続可能な循環型社会を目指して、その具体的な姿の1つとして「環境と経済が調和し、環境ビジネスが発展する社会」づくりに向けた戦略を展開しているところです。その戦略の1つとして、兵庫県全域を対象とした、物質の循環や環境ビジネスの事業化促進、市民等も参加した街づくり、そういったものを目指した「ひょうごエコタウン構想」を策定し、さまざまな環境ビジネスの掘り起こしを行っているところです。産官学で構成している「エコタウン推進会議」と連携しながら、広域リサイクル拠点の整備を図っているところです。また、基本的には環境と経済と社会が一体となって発展していく社会の仕組み作りを進めていく必要があります。環境配慮型事業者、企業の育成支援に努める一方、地球温暖化防止対策をはじめとした環境施策の推進を通じて、ワークスタイルの変革への取組も併せて促進できればと考えております。

このような中、IGES 関西研究センターでは、昨年度より、産業、技術、地域社会システムのあり方に関する「産業と持続可能社会プロジェクト」を推進されており、地元としましても大いに関心を持っているところです。本日の国際シンポジウムでは、「地域再生のための環境ビジネス」をテーマに、海外における先進事例を交えながら、環境ビジネスの先駆的、実践的な取組みや研究成果について、より一層の議論が深められることを大いに期待しているところです。このシンポジウムが、産業と持続可能社会プロジェクトをより一層促進し、この兵庫の地が、全国、そして、アジア太平洋地域へ向けた貢献につながることを心からお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

